

日本臨床検査専門医会

2020 年度第二回全国幹事会議事録

2020 年 11 月 19 日

日本臨床検査専門医会

2020年度 第二回全国幹事会議事録

開催日時:2020年11月19日(木曜日)12:00~13:00

開催場所:アイーナ(いわて県民情報交流センター)8階801 + WEB開催

現地出席者: 〆谷 直人会長, 菊池 春人, 村上 純子 各副会長, 東田 修二庶務・会計幹事,
五十嵐 岳, 東條 尚子, 三井田 孝, 横崎 典哉 各常任幹事,
木村 聡, 伊藤 弘康 各全国幹事, 土屋 達行 監事

WEB出席者: 福地 邦彦, 増田 亜希子 各常任幹事,

藤井 聡, 植木 重治, 大西 宏明, 下 正宗, 千葉 泰彦, 山崎 悦子, 松野 容子,
木村 秀樹, 稲葉 亨, 上岡 樹生, 山崎 正晴, 北中 明, 中島 収, 松井 啓隆
各全国幹事, 古川 泰司 監事

欠席者: 田部 陽子 常任幹事, 中村 聡子 全国幹事

事務局: 市川 綾子

定刻, 〆谷直人会長挨拶の後, 議長として〆谷会長を満場一致で選任した。議長は開会を宣した。

[審議事項]

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は, 本会の議事録署名人の選出を議場に諮り, 下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人 : 伊藤 弘康 全国幹事, 木村 聡 全国幹事

[報告事項]

1. 各種委員会・ワーキンググループ報告

① 渉外委員会

横崎委員長より, 以下のとおり報告があった。

1) 臨床検査振興セミナー

本年度は2020年7月17日(金)予定であったが, 開催中止とした。次年度は2021年7月16日(金)に東京ガーデンパレスを会場に例年通り開催は予定している。講師については今年度予定であった山田秀臣先生に引き続き依頼予定。今後の状況を見ながら詳細は決めていく。

2) 全国検査と健康展

10月22日に日本臨床衛生検査技師会に問い合わせたところ, 「本年度について中央会場(埼玉)の実施は中止。地方会場の開催希望県は山梨と大阪からあったが, いずれも専門医会に派遣要請はない。」とのことであった。

②資格審査・会則改定委員会

東條委員長より、今年度は17名の新規入会希望者の資格審査を行った、と報告があった。

③広報委員会

五十嵐委員長より、以下の報告があった。

- 1) 本会ホームページに SARS-CoV2 掲示板設置し、会員間の情報共有として稼働中である。参照数の累計は約 2000 回に至り、参考になったとの声もいただいている。今後の第 3~4 波に向けて残していく予定。掲示板の設置告知の際に、東田先生に執筆いただいた「新型コロナウイルス PCR 検査の導入を検討している検査室の皆様へ」を第1報として配信した。
- 2) レジデントノート連載：継続連載中(4年目)。2020年12月号で連載45回、レジデントノート誌上4番目に長い連載となっている。引き続き御執筆いただける方を募集(¥15000, 約1500文字)している。
- 3) 第67回臨床検査医学会学術集会ワークショップ11/22：医学生～研修医対象 RCPC+ミニシンポジウム(コロナ関連)、RCPC challenge は Zoom Live で開催。臨床検査専門医・指導医講習に認定。
- 4) 以下についてはいずれも開催・実施中止となった。
第4回臨床検査若手のためのハンズオンセミナー(8月)、令和2年度 こども霞ヶ関見学デー(8月)、医学生～初期臨床研修医対象 RCPC(関東甲信越支部会、ハンズオンセミナー)、JaCLAS EXPO 2020 への出展。
- 5) 臨床検査専門医会ネットワークに関して：昨年移行した専門医会新ホームページへの移設を検討中だが、ネットワークを稼働させるための基本ソフトが古いため、いずれ稼働が困難になる。SARS-CoV2 掲示板と同様の形で運用した方が効率的ではないか。今後についてネットワーク運営委員会と検討中。

三井田常任幹事より、求人情報のホームページへの掲載が可能か確認があり、五十嵐委員長より依頼があれば対応する旨回答があった。

✕谷会長より、コロナ掲示板等情報提供について今後も迅速に対応、発信できるようにしていきたいと考えている。引き続き広報委員会にも対応お願いしたい旨発言があった。

④保険点数委員会

三井田委員長より、令和4年度の診療報酬改定に向けて、会員アンケートを実施、取りまとめをして振興協議会の改定小委員会に提出したが、薬事承認されていないと難しいとフィードバックがあり、内容を整理して、現在12月に第1次提案書を内保連に提出する準備をしている、1月に振興協議会の第2回改定小委員会で再度検討予定である旨の報告があった。

⑤ネットワーク運営委員会

増田委員長より、新しいホームページでは今まで通りのネットワークの運用は難しい、とのことで、今後どのような形にしていくかを検討していきたい、と報告があった。

⑥情報・出版委員会

福地委員長より、以下の通り報告があった。

1) JACLaP NEWS: (編集主幹: 後藤和人先生 副主幹: 五十嵐岳先生)

今年は 135 号(2 月), 136 号(6 月), 137 号(10 月)発刊済。順調に進行している。新たな誌面の企画としてリレー形式による「臨床検査専門医への提言」を準備中、初回は登前会長より提言をいただく予定。

2) LabCP : (担当: 信岡祐彦先生) 37 巻 1 号, 2 号発刊済。

現在 38 巻 1 号・2 号 合併号の準備中。

3) 日本衛生検査所協会 協会誌「ラボ」専門医のページは、福地委員長から 2021 年度分より出居真由美先生に交代。2021・2021 年度は「専門医が解説する病気の検査」をテーマに、執筆者の調整に入っている。

4) JACLaP WIRE: (担当: 福地委員長)「新規収載項目」227~238 号発行済。うち 230・236 号は「事務局からのお知らせ」として発行済。

⑦法人化検討ワーキンググループ

菊池副会長より、法人化の際の要点を以下のとおりまとめ、本会議と総会で検討いただきたい旨報告があった。

1. 一般社団法人化の必要性

- a. 社団法人でない企業からの賛助会員費が集めにくくなっている。
- b. 臨床検査振興協議会の他のメンバーがすべて社団法人となり、専門医会も社団法人化が求められている。

2. 社団法人にあたって考慮すべき点

- a. 法人化するのに費用が必要(すべての手続きを事務局で行うと 15 万円程度、会計事務所などのサポートを受けると 20 数万円)
- b. 定款を作成する必要がある。
- c. 税金の支払いが生じる(会計報告が必要)。
- d. 会の運営が法人法に縛られ、いろいろな手続き、書類が増える。

3. 社団法人化までの手順

- a. 総会で一般社団法人となることの承認
- b. 定款、諸規則の作成

- c. 定款を社員総会で承認
- d. 登記するための事務手続き(登記・銀行口座変更など)

各幹事より、法人化にあたり費用がかかる、事務作業の増加が見込まれる、との意見や、定款の十分な検討や法人化する目的の明確化が必要である、との意見があった。

村上副会長から企業からは団体そのものへの寄付の増加は期待できない、学会や研究会の開催に対して援助がある旨発言があった。古川監事より、会の法人化はぜひ進めてほしい、企業からの寄付を集めるためというより、この会が医師だけで構成された貴重な集団であり、厚労省とのやりとり等で検査医学会だけでなく専門医会としての意見を公に伝えていく必要性が増していくことを考え、法人化に賛成であるとの発言があった。

また、菊池副会長より、動き出す場合は会計事務所など専門家からサポートを受ける方向で進めていきたいとの発言があった。

×谷会長より、大きな反対はなかったので法人化の方向で進めていきたい、とまとめがあった。

⑧女性医師支援ワーキンググループ

村上副会長より、以下の報告があった。

今年3月頃アンケートを実施する予定だったが、コロナ禍で実施を見合わせた。内容としては女性医師支援だけでなく検査専門医が求めている支援、その中で女性が特に求めているものがあるのかどうか、という点、また、コロナ感染症についても加味してアンケートを作りなおし来年実施、結果をまとめて何らかの提案をしたい。

×谷会長より、次年度富山での学術集会の総会講演では企画・成果の発表をお願いしたい旨発言があった。

2. 日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会報告

菊池副会長より、2020年10月9日(金)に日本臨床検査医学会 事務所(+Web会議)で開催された審議会の報告があった。主な報告事項は、以下2点。審議会の内容は、日本臨床検査医学会のホームページ内、理事会だよりに後日掲載される、との報告があった。

- 1) 第12回臨床検査管理医認定試験実行委員会報告(2020/10/12-25,オンラインでの講習)
35名受験, 34名合格(この審議会のあとWeb審議)。
- 2) 第37回臨床検査専門医認定試験実行委員会報告(2020/9/12-13,東京医科歯科大学)
今年はコロナ禍の影響で受験者は例年に比べて少なかった。新規受験者18名中17名, 再受験者2名中1名合格。

3. 第31回(2021年度)春季大会(秋田)

植木全国幹事(大会長)より、日程は2021年5月21日(金)、22日(土)の開催、テーマは「どさいぐ?」Where we are going?(=どこへいく、の秋田弁)、開催形態については検討中だが、ハイブリッドでの開催を考えている、と報告があった。

4. その他

×谷会長より、2年後の春季大会は、今年開催中止になった鹿児島(橋口大会長)での開催となる旨報告があった。

[審議事項]

第二号議案 2021年度予算について

議長は、東田庶務・会計幹事に2020年度会計中間決算と予算案について説明させた。

東田幹事より、中間決算・来年度予算について以下の説明があった。

1) 中間決算について

会費収入については未納者1割、賛助会員からの年会費もまだ未納分がある。事業収入については、各セミナーはいずれも開催中止だが、教育セミナーは講師の先生方の協力により資料作成し、1冊5,000円で配布、38名の方が購入したので収入があった。

支出については、開催中止になっても、会場費用のキャンセル料、教育セミナー資料の作成料で、費用が発生している。まだ請求書が届いていないものもあるため支出0の項目もある。

2) 来年度の予算について

会費収入については、会費10,000円の会員数と5,000円の会員数で算出すると今年と同額の収入予定となった。事業収入については、来年度の各種セミナーの開催形態が現時点では不明だが、例年通りの形式で行うことができれば、という見込みで組んである。

支出についても同様で、開催形態によって必要経費は異なってくるが、現時点では例年と同額で組んである。

WEBで開催するとセミナーが安くなる、という誤解があるが、単位認定のためにログインログアウトの記録をとるように業者に依頼すると数十万円単位で請求がある。リアルのセミナーよりかえって高くなる可能性もある。どのような開催形態がよいかは検討が必要である。来年の各種事業の運営については予測が難しいところで、その点はご了承いただきたい旨説明があった。

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。なお、中間決算および新年度予算案については資料1として本議事録章末に掲載する。

第三号議案 2021年度名誉会員・有功会員の推薦について

議長は、東條資格審査・会則改定委員会委員長に2021年度名誉会員・有功会員の推薦について説明させた。

東條委員長より、会則に則り、2021年度名誉会員2名、有功会員7名の推薦を委員会で決めた旨説明があった。推薦候補者は以下のとおり。

名誉会員:杉浦 哲朗 先生, 登 勉 先生

有功会員:石亀 廣樹 先生, 井上 裕二 先生, 岡田 基 先生, 越川 卓 先生,
野村 文夫 先生, 橋本 佳明 先生, 吉河 康二先生

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

第四号議案 会則改定について

議長は、東條資格審査・会則改定委員会委員長に会則改定について説明させた。

東條委員長より、主に有功会員からの退会の申し出に対して、できるだけ会員として残っていただく方向を考えての改定案となっている。会費支払い有無で刊行物の送付の継続か停止かが異なってくる、と説明があった。

改定内容の詳細は資料2として本議事録章末に掲載する。本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

第五号議案 その他

✖谷会長より、関連団体の委員について

WASPaLM 委員については、登先生から東田先生に交代、臨床検査振興協議会の遺伝子関連検査に関する小委員会の委員には、松井先生(熊本大)・松下先生(千葉大)、感染症対策小委員会には上原先生(聖路加国際病院)・春木先生(獨協医大)に就任を依頼したい旨確認があり、議場からは異議なく承認された。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

会議開始時、第67回日本臨床検査医学会学術集会 諏訪部大会長より挨拶があった。

議事録署名人

2021年 1月 13日

伊藤 弘康

2021年 1月 24日

木村 聡

資料 1

2021年度予算案							
		項目	2020年度予算	2020年度決算 (中間報告)	2021年度予算案	備考	
収入欄	入金	会員会費	6,535,000	5,585,000	6,535,000	注1	
		賛助会員会費・寄付金	3,300,000	3,200,000	3,300,000	注2	
		小計	9,835,000	8,785,000	9,835,000		
	その他	広告収入	250,000	11,077	250,000		
		教育セミナー参加費	400,000	190,000	400,000	注3	
		生涯教育講演会参加費	200,000	0	200,000		
		振興セミナー参加費	60,000	0	60,000	注4	
		利息	1,000	861	1,000		
		小計	911,000	201,938	911,000		
	入金合計		10,746,000	8,986,938	10,746,000		
支出欄	庶務費	事務所維持費	1,700,000	1,507,275	1,700,000		
		人件費	1,750,000	1,318,914	1,750,000		
		設備費	50,000	126,500	50,000		
		電話・FAX使用料	60,000	49,692	60,000		
		通信費(事務局)	210,000	169,531	210,000		
		事務局雑費	150,000	125,584	150,000		
		小計	3,920,000	3,297,496	3,920,000		
		事業費	印刷代	1,400,000	633,165	1,400,000	
	要覧印刷代		0	0	0		
	通信費		600,000	315,837	600,000		
	春季大会補助金		500,000	500,000	500,000	注4	
	臨床検査振興セミナー費		850,000	244,200	850,000	注4	
	教育セミナー費		650,000	277,951	650,000	注4	
	会議費		1,000,000	132,043	1,000,000	注4	
	交通費		100,000	51,680	100,000		
	宿泊費		30,000	0	30,000		
	原稿料		50,000	0	50,000		
	専門医ネットワーク維持費		100,000	12,540	100,000		
	HP維持費		330,000	0	330,000		
	会員管理委託費		132,000	66,000	132,000		
	広報活動費(委員会HP)		50,000	0	50,000		
	JCCLS会費		50,000	50,000	50,000		
	WASPALM会費		55,000	53,248	55,000		
	臨床検査振興協議会		300,000	0	300,000		
	内保連		200,000	200,000	200,000		
	予備費		429,000	0	429,000		
	小計		6,826,000	2,536,664	6,826,000		
	出金合計		10,746,000	5,834,160	10,746,000		
	収支決算			0	3,152,778	0	
	(2020年11月18日時点)						
注1：2021年は会員(1万円)619名、有功(5千円)69名、名誉(免除)46名の見込み。例年70名ほど未納。							
注2：賛助会員33社							
注3：教育セミナー資料@5,000×申込者38名							
注4：春季大会補助費、振興セミナー費、教育セミナー費、会議費は、2021年度の開催方式により必要経費が大きく変わる可能性がある。							

会則

対応表

現行	改定後
<p>第8章 第30条 有功会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員で10年以上の会員歴があり、本会に貢献をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。</p> <p>第31条 名誉会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員であり、本会に多大な貢献（会長、副会長、監事1期以上、幹事2期以上、春季大会長、もしくはこれらに準ずる貢献）をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。</p>	<p>第8章 第30条 有功会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員で10年以上の会員歴があり、本会に貢献をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。<u>有功会員の称号は終身称号とする。</u></p> <p>第31条 名誉会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員であり、本会に多大な貢献（会長、副会長、監事1期以上、幹事2期以上、春季大会長、もしくはこれらに準ずる貢献）をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。<u>名誉会員の称号は終身称号とする。</u></p>

以上